

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名 環境省

事業名 浄化槽システムの脱炭素化推進事業

事業の概要

浄化槽システムの脱炭素化に向けた、エネルギー効率の低い既設中大型浄化槽への先進的省エネ型浄化槽の導入支援。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考）[各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

- 効果検証を強化し、成果に基づく制度運用へ転換すべき
- 政策目的と手段を精査し、公平で目的に即した政策設計・運用を徹底すべき

有識者からの主な指摘事項

- 一定の環境基準未満の浄化槽を禁止する規制補助要件について、脱炭素化という政策目的を堅持すること
は大前提ながら、CO2一律46%削減という要件が足かせにならぬよう、市場実勢に合わせた柔軟な補助率等
の検討をしてはどうか※。
- 中大型槽分野について、技術レベルで難しい点もあるが、そこに対して脱炭素化対応機種
の技術開発を促進するようなスキームを検討するべきではないか。
- 補助金だけでなく規制や経済的な手法も組み合わせるべきではないか。
- 他の省庁と連携し、「先進的省エネ型」が選ばれる仕組みの構築が重要。

※租税特別措置・補助金見直し見直し担当室からは、「31～50人槽については、環境配慮型の普及が進んでおり、規制的措置による対応に切り替えるべき。51人槽以上については、普及が進まない要因を詳細に分析し、補助金だけでなく規制や経済的な手法も組み合わせるべき。短期のアウトカム指標について、出荷基数や商品ラインナップ全体に占める環境配慮型浄化槽の割合を指標とすべき。」との指摘を受けている。

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名 環境省

事業名 地域脱炭素化出資事業（基金）

事業の概要

長期的な採算性・収益性が見込まれる地域の脱炭素化プロジェクトに対して出資を行い、民間資金を呼び込むこむため、出資を行う「地域脱炭素投資促進ファンド」に対し補助金を交付する（現在は新規出融資に係る事業は停止）。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考）[各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

- 一定期間ごとに成果指標（KPI）等を検証し、資金配分に反映すべき
- 基金を「見える化」し、透明性を確保すべき
- 基金設置法人等の運営、執行を適正化すべき

有識者からの主な指摘事項

- 投資回収の見通し、損失の内容など、情報の解像度が低いので、営業の秘密に配慮しつつ、より具体的に情報開示してほしい。
- 出資済みの案件については適切なモニタリング※を行い累積損失の解消を目指すとともに、余剰資金の継続的な国庫返納を行うべきである。また、モニタリング経費や管理費の精査も行き、今後の経費削減を図る必要がある。
- 地域貢献等効果の指標として、地域事業者や地域金融機関とマッチングした再エネに詳しい専門家等の人数が適切なのか疑問。

※租税特別措置・補助金見直し見直し担当室からは、「令和4年までに出資決定が終了しているにも関わらず、いまだに今後予定のものや一度も出資が実行されていないものもある。一定期間、出資が実行されていない案件は、出資決定を継続することの是非について見直しを行うなどの一定のルール作りが必要ではないか」との指摘を受けている。